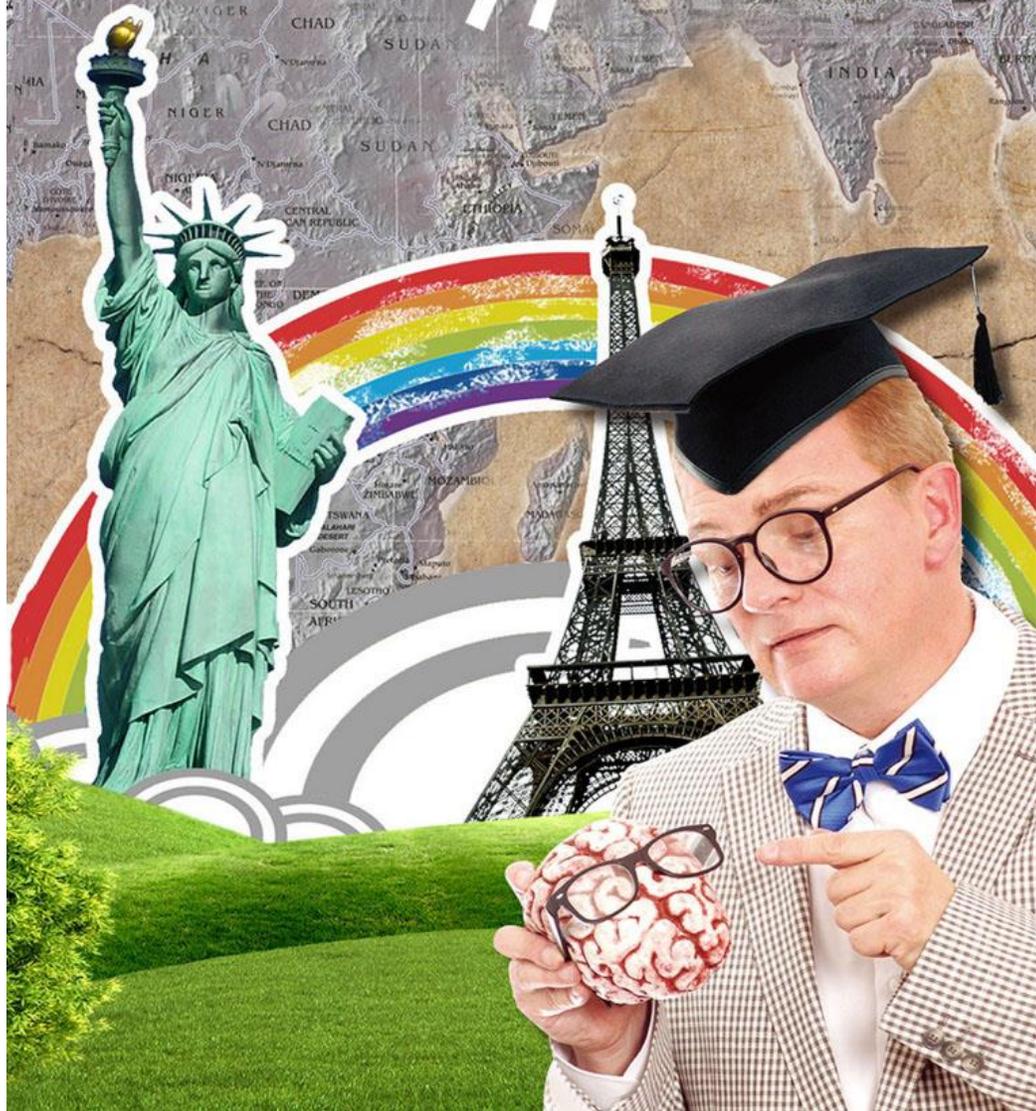


メル・メラーズによる マジカル・メンタリズム ツアー



メル・メラースによるマジカル・メンタリズム・ツアー

Published by Magicseen

発行：マジックシーン

First Edition (2020)

初版2020年

<日本語版>

この日本語版はPhil Shawより
日本語版としての権利を購入して
(有)フェザータッチMAGICにて発行するものです。

“MMMMT” RIGHTS TO PUBLISH CONTRACT BETWEEN MAGICSEEN
& OSAMU TAKEMOTO (Feather Touch Magic)

Magicseen grants Osamu Takemoto full rights to the following:

The right to translate, publish and sell MMMMT by Mel Mellers books in Japanese language only.

Upon payment of Magicseen will supply Osamu Takemoto with PDFs for the original English version which can be edited into Japanese language.

Phil Shaw

(on behalf of Magicseen)

Osamu Takemoto

2023年7月10日

無断複写・転載を禁じます。本書のいかなる部分も、書面による事前の許可なく、出版されたもの以外の製本またはカバーによる流通、および本条件を含む同様の条件が後続の購入者に課されることなく流通することを禁ずる。

テキスト著作権：Mel Mellers

MMMMT 編集：Mark Leveridge

表紙デザイン：Phil Shaw

「日本語版」テキスト（翻訳）、カバー編集：(有)フェザータッチMAGIC

はじめに

それでは、メンタリズムのマインド・エフェクト集をどうぞ。はっきり言うておくが、私は本格的な「読心術師」タイプではないし、そうであったこともない。だから、どのエフェクトも、流行りの擬似的な説明はあまり使っていない。ボディールンゲージ、微表情、非言語的コミュニケーション、神経言語学的説明などは、この本には載っていない。このような説明や下地は良いのだが、私のスタイルには合わないのだ。



私が持っている唯一の才能は、エンターテイナーであり、クールなメンタリズムの本の著者であることだ。最初から観客を楽しませることに重点を置き、よく練られた魅力的なプロットで本質的に面白いエフェクトを見つけることができます。

私は、すべてに自然な流れがある独創的なプレゼンテーションの大ファンです。観客を飽きさせないことは、私たち全員が目指すべきことの中心です。

当然ながら、コメディ出身であるため、ユーモアには重点が置かれている。貼り付けのジョークではなく、筋書きや状況から生まれるユーモアだ。重要なのは、コメディとメンタリズムのダイナミズムを追求することだ。

バラバラのジョークでせっかくの効果が台無しになるのは誰も見たくない。

私はメンタリズムとそのプレゼンテーションに関する一般的な概念をよく知っている。イングランド北部の海辺の町で毎年開催される大きなコンベンションで、私がショーの司会をしていたことがある。ショーに出演していたアクトの一人が、『読心術』をやらないのかと聞いてきたので、私は「しない」と答えた。観客のことを考えての返事だった。読心術は一人で十分だ。

しかし、この行為は、封筒、カード、クリップボード、そして電子メカの道具が、本当に私たちに「わあ、あなたは才能がある」と思わせると思っていたのだろうか？

私が言いたいのはこういうことだ。あなたが、ある種の才能や理解力（心理的なものであれ、そうでないものであれ）を持っていると本当に思わせることができる数少ない人でなければ、あなたはメンタリズムを専門とするマジシャンとは言えない。観客の関心が低いというわけではない。優れたマジシャンを見るときと同じだ。観客は、彼がジェニファーを浮かせる力を持っていないことを知っている。同じように、ただワイヤーを探しているだけでは、ピーターパンの劇を楽しむことはできない。

さて、それではどうする？

私は単に楽しませるためにメンタリズムを使っているだけだ。大真面目な売り込みは他の人に任せている。観客が私に教祖のような力があると思わないことを前提にしている。前者では排除されるような筋書きや観念を構築することに集中できる。

この緩やかなメンタリズム哲学の正味の効果は、プロットやプレゼンテーションのアイデア、場合によっては小道具が、古典的なメンタリズムの硬直した軌跡よりも、一般的なエンターテインメントに近いということだ。

ただ、私たちの多くが「軽いエンターテインメント」の仕事をしていることを忘れてほしい。このことを念頭に置いて、私はエフェクトの多くに視覚的な側面を持たせようとした。空中で鉛筆を使って字を書いたり、唇を読んだり これらはほんの一例だ。

本書の内容について少し考えてみたい。いくつかのエフェクトについては、ピレットのsスイッチ、センター・ティア、基本的なニーモニックといった基本的な技術を学ぶ必要があります。これらについては解説を入れました。しかし、もし好みの方法があれば、それを使ってほしい。この本はメソッドについて書かれたものではない。

見慣れたものだからという理由で、いくつかのエフェクトを見落とさないでほしい。これらはすべて、見せ方のフックが与えられている。疑似ラピッド・メモリー・デモンストレーションは、よく知られた正方形のグリッド（マジック・スクエア）を使ったものです。しかし、恣意的なカテゴリーに見えるものの中から特定のものを選んでもらうという前提が、記憶の側面と見せ方をより強くしている。

マジック・スクエアの前提は、よく知られた「16マスのマジック・スクエア」をベースにしていることは認めるが、時計を借りて、さまざまな順列の数にかかる時間をリンクさせることで、さらに弾みをつけている。

例えば、「パーソナリティ・カード・トリック」のように、観客に好みを聞いて、その考えに焦点を当てる。また、「ハートの女王ではない」のルーティンでは、コメディがコメディ台本に組み込まれている。

さて、私の話はここまで。コンテンツに没頭して、失望にどう対処するか見てみよう。・・・冗談だよ。

メル・メラーズ

メル・メラーズによるマジカル・メンタリズム・ツアー



内容



はじめに.....	3
スヴェンガリのポストカード.....	8
いつでも即興ブックテスト.....	9
マイ・ドリンク予想.....	11
ブラックアウト・ギャグ.....	14
M & M の小さな奇跡.....	15
マジック・スクエア.....	16
サムライター戦略.....	19
ジャスト・チャンスのギャグ.....	20
思ったカードを当てる.....	22
疑似高速メモリー・デモンストレーション.....	25
どれよりも公平.....	26
パーフェクト・マッチ.....	29
対立と連合.....	30
マインドリーディング・バナナ.....	33
パーソナリティ・カード・トリック.....	34

リピートしないカード.....	35
基本.....	37
封筒の策略.....	39
吹雪の占い.....	42
ハートの女王ではない.....	44
エニーカード・エニーネーム.....	46
サイキック・グローブ.....	47
悪魔のハンカチ・スイッチ.....	48
ブックテスト/絵の複製.....	51
ロシアの読心術師.....	53
ポケット・パワー.....	56
マインドリーダに電話.....	59
不可能な条件下で名前を当てる.....	61
プル・ストリング・スイッチ・パッド.....	63
一言ネタ：ジョーク.....	65

スヴェンガリ ポスト カード

これは楽しいリモート・ビューイング・タイプのエフェクトだ。基本的には、誰かに絵葉書を選んでもらい、その目的地にいる自分を想像してもらいます。すると、あなたは半トランス状態になり、バーガーキングの従業員のような状態になります。そして、あなたはその場所を恐ろしいほど正確に描写します！



すべての効果は、情報をフィードバックする際の優れたプレゼンテーション能力と細部への注意に依存している。

秘密：

20枚は全部違うポストカード、20枚は全部同じポストカード。重要なのは、異なるハガキの方はトリミングして、すべて同じサイズにすることだ。また、同じポストカードの方は少し短くトリミングする必要がある。

これがカードのデッキなら、スベンガリ・デッキだろう。

ですから、スベンガリ・デッキの扱い方を少し知っていると、この効果に役立ちます。基本的に、ポストカードを表向きにしてカットすることで、全て異なるイメージを見せることができ、裏向きにカットすることで、必ずどちらかの重複したイメージ（同じ絵のポストカード）に着地します。

プレゼンテーション

ハガキを表向きにしてカット、カットした所の画像を表示することで、ハガキがすべて異なることを示す。次に、ハガキを裏向きにして、数回カットします。そして、観客にカットしてもらい、カットされたハガキを取ってもらいます。私のセットでは、ロンドンのウェストエンドにあるトラファルガー・スクエアです。トラファルガー広場は、ロンドンのウェストエンドにあるとても有名な広場です。

情報をフィードバックする

参加者に、ハガキに描かれたイメージの中にいる自分を想像してもらうことがとても重要です。

トラファルガー広場をベースにした典型的な開示・・・。

暑い夏の日、私はとても騒がしい場所にいる。なのに水がある・・・。

船に乗っていると、海辺にいるという感覚はないけれど。でも水は見える。

おそらく噴水だろう。そして、イギリス独特の雰囲気を感じる。実際、ロンドンの雰囲気だ。

あ、ちょっと待って、何かが目に入った。(目に入ったものを取るふりをする)。

この場所にはかなりの数のハトがいるということではないのかな？

ああ、この場所は知っていると思う。

実は今、ネルソンの柱を見上げているんだ。

トラファルガー・スクエアにいるのではないですか！

いつでも即興ブックテスト



私はこれまで、すべての講義でこのブックテストを実演してきた。本当に即興的で、事実上どんな本でもできる。文庫本が一番効果的だ。

単語の選択全体は、パフォーマーが目をそらしている間に行われる。そして、必要なチラ見は、手順の公正さを再確認するときに行われる。つまり、注目されていない時に行われる、素晴らしい「時間遅延のミスディレクション」があるのだ。

現象：

観客から目をそらしながら、本のページをめくり、観客にストップと言ってもらいます。(ノーフォース) 観客はどこでも止めることができます。そして、観客には、自分に向いたページの最初の2、3の単語を覚えてもらいます。

あなたは、本を閉じ、単語を当てます。まあ、それが記憶に残るということだ！

秘密：

—以下省略—

ギャグ：

ブックテストはその性質上、かなりハードルが高い。私は観客とちょっとした冗談を交わしながら、私が観客や本を見ることはないという事実を強調するのが好きだ。このことを強調するために、私は目の届く範囲にいる観客に、私と常にアイコンタクトを取るようお願いし、私が一瞬でも彼らから目を離したり、視線を外したりしたら、進行を中断するように呼びかける。

何年か前のブラックプール・マジシャンズ・コンベンションで、双眼鏡を手渡した観客とアイコンタクトをした。

どんな本でも使えますが、ページ数が少ないものより多いものの方が、背表紙がしっかりしていてコインを保持しやすいのでおすすめです。

マイ・ドリンク予想

今回は説明が多くなりそうだ。
難しいということではなく、いくつかのことが
同時に進行していくからです。



現象：

ブルドッグクリップを首につけたテディベアを配る。テディベアである必要はありません。私はバブーシュカ人形や普通の人形（バービー）を使ったことがある。

「あなたの心を読んで、3つの簡単な質問をするだけで、あなたの好きな飲み物を当ててみますよ」。

大きなパッドを手に3つの質問をし、観客の心を読んだことを示す

しかし、あなたはテディベア、つまりあなたの言う『サイキック』なテディベアについて言及している；

「でも、ほら・・・、ブルドッグクリップの中の紙を読んでみよう！」

ブルドッグクリップから紙を取り出し、あなたが尋ねた3つの質問に対する答えが書かれていることを示す。

秘密：

では、基本的なコンセプトを説明しよう。これはマインド・リーディングのエフェクトとして始まる。要するに、相手に何か、この場合は飲み物を思い浮かべてもらい、3つの質問をすることで、相手の心を読むことができるというものだ。

マインド・リーディングの側面は、予言のためのお膳立てをするギャグだ。これは、よく知られている（あまり見かけないが）「YOUR DRINK」のギャグに基づいている。

「あなたの好きな飲み物」ギャグ

さて、通常の形式では、これが古典的なギャグの仕組みだ。あなたは手にメモ帳を

持っていて、ある人の好きな飲み物を書くと言う。

パッドに「あなたの好きな飲み物」と書く。参加者に好きな飲み物を挙げてもらい、返事をもらったなら、あなたはこう言う。パッドを裏返し、そこに書かれている『あなたの好きな飲み物』の文字を見せる・・・。

さて、この現象の予言要素について話そう。3つの質問をすれば、その人の好きな飲み物がわかるという基本的なプレゼンテーションを思い出してほしい。

質問

1. このドリンクを誰かと分かち合うとしたら、誰？
2. パブ、ホテル、自宅など、どんな場所でこのドリンクを飲む？
3. このドリンクを飲むような思い出深い日を教えてくれる？

その答えは、テディベアの首から下げているクリップに書かれている。

基本的な方法は、いくつかの機微に頼っている。

—以下省略—

ブラックアウト・ギャグ

ターゲットとなる単語、数字、トランプ、場所などを導き出すための情報を得るためのルーティンに入れる、ちょっとしたギャグです。

少しタイミングが必要で、純粹に笑いを取るために演じられます。

当然ながら、目標とする思考を知るための方法は必要だ。それはあなたに任せるが、本書にはいくつかのそれらの方法が載っている。

では、その方法とは、より正確にはスクリプト：セリフである。



観客を直視してこう言う：

「私はあなたに10の質問をすることで、あなたの考えを導き出そうと思います。」

「質問その1は、あなたは失神に悩まされたことがありますか？」

一時停止・・・そしていかなる返答も無視する。

「質問その10は・・・」

ギャグを理解させるための一時停止。

それだけだ。ただのコミカルな幕間劇で、おそらく、実際に演じてみないと面白さは分からないでしょう。お試しあれ。

M&Mの小さな奇跡

M&Mでなくても、スマーティーでもいいし、色が違うものなら何でもいい。



これは、ディナーパーティーや、会計士との租税回避戦略など、テーブルを囲んでの即席の集まりで使える、まさにクロスアップ・トリックだ！

現象：

あなたは誰かにM&Mのパックを渡し、テーブルの下で持っているように指示します。そして、どれかM&Mを一つ取り出して、あなたの手（テーブルの下で）に置いてもらう。

.....、握りこぶしを握った手を出して額に当て、その色を当てて見せる。これを何度でも、あるいはどちらかが気を失うまで繰り返すことができる。

秘密：

秘密は腹立たしいほど簡単だ。あなたの手には事前にM&Mがバームされている。相手がM&Mを空っぽの手の中に入れたら、あなたは他の手でバームしていたM&Mとスイッチするだけ。こうして握られたM&Mを出す。こぶしを出して額に当てると、もう片方の手は渡されたM&Mを膝の上に置き、一目見て色がわかるようにする。（次に備える）

あなたは今、その効果を繰り返す立場にいる。2、3回繰り返すだけで、相手にあなたの超能力を確信させるには十分です。

見過ごしてはいけない。パフォーマンス作品ではないが、ダレン・ブラウンのショー・ストッパーを繰り出すまでのちょっとした楽しみだ！

続きを読む

研究のために、私はたまたまアマチュアマジシャンである友人にエフェクトのいくつかを見せることがある。彼の本業は照明技師である。説明されたエフェクトを見せると、彼はすぐにこう反応した。「そうだね。なぜカードでやらないんだ？」

そう、彼は正しい。少し変える必要がある。でも、ハインクルデッキを台無しに

してまで、カードを折りたたんで手の中に入れることはない。だから、カードを
バームした状態で、手がテーブルの下にある状態で、もう片方の手でバームした
カードと交換した後で、カード当てを行うんだ。

「うーん、手渡されたカードは『クラブの3』だと思います」

もう一度、実際に手渡されたカードは膝の上に置き、次のカード当ての準備をす
る。

これのいいところは、両手がテーブルの下に一瞬入るので、両手が空っぽに見える
ことだ。

マジックスクエア

マジック・スクエアは人気のあるアイテムで、とても記憶
に残る。本当に人気がある話題のアイテムだ。私が追加した
唯一のことは、数字を足し算するときの複数の順列の提示で
ある。そして興味深いことに、このアイデアは、
あなたが「頭の天才」であるという中心的な効果を売り込む
のに役立っている。



スピードがあれば、その効果は大いに高まる。その速さこそが、あなたが数学の
魔術師であるかのような錯覚を与えるのだ。そこで、このコンセプトの出番とな
る。

まず、マジックスクエアの仕組みを簡単に説明しよう。基本的には、ある数字
(21以上)を自由に導き出す。やり方は、2人の人に違う一桁の数字を出し
てもらっただけ。2つの数字を隣り合わせに書き、左の桁が2以上であることを
確認するだけ。そうすれば必ず21以上の数字になる。

—以下省略—

サムライター 策略

サムライターやネイルライターを使う場合の大きな欠点は、注目されている最悪のタイミングで行うことだ。あなたは相手に番号を尋ね、そしてすべての注目があなたに集まっているときにカードに書かなければならない。

良くない。

そこでもうひとつ。基本的には、読心術をクローズアップして納得させるのだ。

現象：

名刺に数字を書き、テーブルに裏向きに置く。

あなたの自信と技量を証明するために、あなたは10ポンドを賭けます。「もし私が不正解だとわかったら、10ポンド札を差し上げます!」と言ってください。その紙幣で、正しい数字が書かれたカードをすくい上げ、開示する。

秘密：

—以下省略—



ジャスト・チャンス (ギャグ)



現象：

私はこれを演技中のギャグとして使っている。テーブルの上にグラスが4つある。(4つである必要はない)。グラスは色違いの布袋で覆われています。グラスの1つに大金が入っていると説明します。演技が進むにつれて、観客にグラスを選んでもらいます。

選択してもらうたび（色を選んだりするたび）に、布袋を持ち上げて空のグラスを見せる。クライマックスでは、残った1つのグラスにはたくさんの紙幣が入っているのを見せる。

秘密：

—以下省略—

考察：

楽しいメンタリズムのいい見せ場だ。単独で見せるよりも、ギャグとして見せる方が好きです。思考コントロールや影響力など、どのような擬似的な説明にも当てはめることができます。色のついた袋のアイデアが嫌いなら、袋に数字をつけることもできます。

ブルドッグ・クリップに何十万円も入れなければならないという心配は無用で、普通の紙を紙幣サイズに切って積み上げ、本物の紙幣を1枚ずつ周りに置くだけでいい。

ギャグは各自で考えて演じてください。

思ったカードを当てる

このエフェクトは好きでよく使う。基本的にはカード当てだが、とてもクリーンだ。



現象：

観客が心の中でカードを選び、あなたがそれを当てて見せます。素敵でしょう？ 魅力的なのは、すべて観客の手の中で行われ、手品的なハンドリングが不要なことです。

ちょっと面白いプレゼンテーションを追加した。もちろん、私のプレゼンテーションはコメディ的な傾向を持っていますが、これをどんなメンタリズムのタイプのプロットにもリンクさせることができます……。

秘密：

観客に1デッキのカードを渡し、それを扇状に広げて心の中でカードを1枚選んでもらいます。

そして、そのカードをデッキのフェイス（表側）のトップに来るようにカットしてもらい、じっと見つめてもらいます。

そうしたら、最終的にそのカードをデッキの中、好きなところに混ぜてしまうように指示します。最後に、あなたはそのカードを当ててみせます！

どうやって？ スタックデッキを巧みに使うことと、確実な観客管理戦略を組み合わせることだ。（訳注：スタックデッキとは、予め決められた順番に並べた、重ねたデッキ）

確実なオーディエンス・マネジメント戦略

このエフェクトを成功させるために重要なことは、観客が非常に基本的な、しかし重要な手順に従う必要があるということです。

そのために、観客にデッキを渡した後、私自身もジャンボデッキを持ちながら、観客に指示します。こうすることで、すべてが非常に簡単になります。

ハンドリング： —以下省略—

重要なサトルティ：

開示：あなたが持っているのはデモンストレーション用のジャンボデッキなので、カードを1枚取り出して、思いついたカードの名前を言ってもらいます。私の好きなやり方は、カードの情報が少しずつ頭の中に入ってくるようなトランス状態を演じることです。

セリフと興味深いプレゼンテーション：

「読心術の実験に協力してくれないか？ 毎回うまくいくわけではないので、実験と呼んでいる。先週やったら、誰かが思いがけずアルザス犬になっちゃったんだ。心配しないで、もう完成しているし、ペットフードも用意してある。

「このカードを持って、ゴムバンドを外してください。カードを広げて、心の中でカードを選んでください」 演者はジャンボカードを持って実演。

「あなたの思ったカードがデッキの表側トップに来るようにカードをカットしてください」。もう一度、メンタリストがカードを持って実演して見せます。

「そのカードをじっと見てください。そのカードの特徴、数字、色を見て、心に刻み込んでください。では、このカードをデッキの中に埋めて、デッキに巻いてあるゴムバンドを元に戻してください。そしてデッキを私に投げ返してください」。

デッキをキャッチしてポケットに入れる時に、デッキのフェイスにあるカードをチラッと見て、選ばれたカード知ります。

ドラマチックな開示：

「このカードを、あなたの家の中で見つけにくい面白い場所に置いてください」。トランス状態な風で、「何か出たか見てみよう。ああ、面白いところに置いたね。かなり狭くて奇妙な装飾の部屋が見える。U字型に曲がっていて、水がいっぱい入っている。そのUの字に曲がった部分を覗くと、カードが見える・・・、トランプだ。それは・・・（カードの名前を言う）だと思う。あなたが家に埋めたカードですか？」

注：もちろん、相手の家のどこにカードが埋まっているかはわからないが、確認も否定もされないのだから、それはどうでもいいことだ。



疑似高速記憶デモ

90年代後半、私はメンタリストのLee Earl：リー・アールの講演会に参加する大きな喜びを味わった。

リー・アールの演じたマジックはどれも傑作だったが、中でも彼のオープニング・エフェクトは私の目を釘付けにした。

リーはパッドを持ってステージに上がり、観客が言った数字をパッドに書いていった。約40の数字が言われた後、リーはパッドに書かれた数字を示し、それを後ろに置きながら、正確に数字のリストを暗唱した。なんという記憶力の早さだろう！

リーの方法を試してみたが、どうしてもスムーズにできなかった。リーのバージョンでは、**最初と最後の数字を実際に書いて覚えます。他の数字はすべてあらか**



じめ知っている数字です。

観客が必死になって数字を連呼するせいで、誰も実際に連呼された内容や書かれた内容を覚えていないのだ。数字の書かれたパッドは、観客ではなくパフォーマーの方を向いていることを忘れないでください。電話番号、銀行口座、社会保障番号な

—以下省略—

秘密：

—以下省略—

どれよりも公平

これがその効果だ。あ、レギュラー・デッキを使うことも書いておくれ。

現象：

観客がデッキをシャッフルし、トップから数枚（20枚以下）のカードをカットして、そのカードを見ながら、ポケットに入れます。残りのカードは別のポケットか他の場所に入れます。全て、背中を向けた状態で行います。

観客にカットしてポケットに入れたカードを取り出してもらい、シャッフルしてもらいます。これらのカードを一列に並べ、ショーマンシップを駆使して、カットして覚えたカードの名前を当てます。実際には、どのようにカードを明かしても構いませんが、説明の後に私が行った方法をいくつか紹介します。

秘密：

まあ、すべては策略に過ぎない！あなたが観客に指示し、何をすべきかを示しているときこそ、ずるい仕事が行われるのです。

—以下省略—



開示：

カードを当てる方法はいくらでもある。重要なのは、その手順が公正であることを強調することです。あなたはデッキに触っていないし、相手はデッキをシャッフルしている。これ以上公平な方法はありません。

それでは、カードを当てる方法を見てみましょう。明らかに、カードを表向きに配ってもらわなければなりません。私は以前、床にカードをばら撒いて、一輪車に乗って、観客に誘導してもらおうという方法で、カードを当てたことがあります。観客にカードの名前を言ってもらい、その間に、観客が言ったカードの枚数を頭の中で数えて、観客が言ったカードがどのカードなのかを当てるという方法もあります。

メンタルマジック的なテーマから少し離れるが、これは見事な「カード刺し」にもなる。- 2014年にブラックプール・マジック・コンベンションでこの「カード刺し」を演じ、Derek Lever：デレク・レバー氏を含む多くの優れたマジシャンを騙しました。

ヒントをいくつか。

「このトリックは
セルフワーキング
だと言っていなか
った?!」



パーフェクト・マッチ

これは私の好きなメンタリズム系のカードトリックの一つである。基本的にはマッチング・カードのエフェクトですが、非常にクリーンで、ほとんどスライトは必要ありません。レギュラーデッキでも、私の好みのESPカードでも演じられます。



現象：

観客をスタンバイさせ、デッキの半分を手渡し、シャッフルするように指示します。あなたも半分をシャッフルします。

カードを自分の前で扇状に広げ、カードを1枚取り出して、観客が持っている半分のデッキのトップに置きます。観客も同じようにカードを裏向きに抜き、あなたの半分のデッキのトップに置きます。

2枚のカードを裏返し、同じカードであることを確認する。これは何度でも繰り返せますが、最初の7,000回を超えると興味が薄れてきます。真面目な話、これは繰り返しに適した効果である。それを説明しよう。

秘密：

—以下省略—

対立と連合

現象：

誰かに紙を渡して、そこに何か言葉を書いてもらいます。その紙は折られて相手が保管します。あなたはその紙に触れることは決してありませんが、相手にその言葉が何であるかを伝えることができます。相手は折った紙をポケットに入れておくことができます。

すごい。これって、どう？

私が最初に思いついたのは、テーブル・ホッピングしていたときだった。これは2つの戦略に基づいている。その内容をお話する前に、もう少し興味を引くために、次の点を強調しておこう。

彼らは紙に何かを書き、それを折りたたんでポケットに入れる。カーボンコピーも、ピーク装置も、プレショーも、サクラもない！

秘密：

これは、T.A.ウォータースの著書『マインド、神話、マジック』にあるエフェクトからヒントを得たものだ。基本的には、人が映画スターの名前を書き、その人の心を読もうとするエフェクトだ。

—以下省略—



エンターテイナーによる
クールなメンタリズムの本
コメディとメンタリズムの
ダイナミズム
よく練られた魅力的な
プロット満載



MAGIC
SEN

(有)フェザータッチMAGIC

www.ftmagic.jp